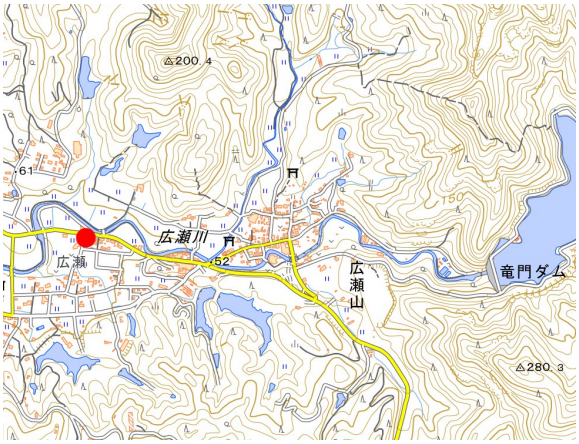
番号	115	水害復興記念		
所在地		有田町広瀬甲		
災害別		昭和２３年（１９４８）　水害		
目的別		記念碑	建立年	昭和２７年５月
特記事項				

この水害復興記念の碑は有田川支流の広瀬川が流れる有田町広瀬の県道沿いに建っている。昭和２３年９月１１日から１２日にかけての豪雨は、伊万里・西松浦郡地域は、３００ミリを超す雨量があったと推定されている（伊万里の雨量計が流失したため正確には不明）。このため旧有田町では、がけ崩れで１名圧死、溺死２３名という大惨事となった。

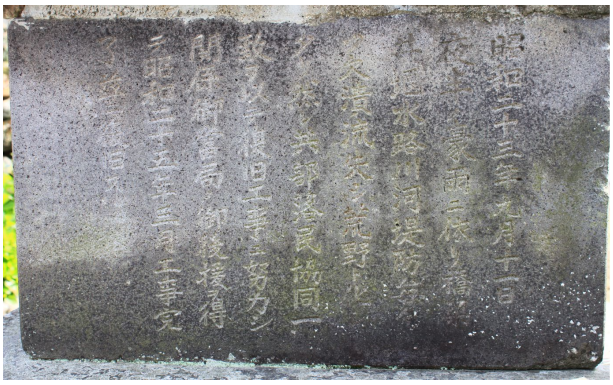
この碑が建っている広瀬付近もこの水害により荒野と化したと碑文に記されている。その後、有田川の河川変更や有田ダムの建設（昭和３６年竣工）、広瀬川上流には竜門ダムの建設（昭和５０年竣工）などの洪水対策が行われている。



国土地理院電子国土 Web

「昭和二十三年九月十一日夜半ノ豪雨ニ依リ橋井樋水路川河堤防毎々決潰流失シ荒野ト化シタ然レ共部落民協同一致ヲ

以テ復旧工事ニ努力シ関係御當局ノ御後援ヲ得テ昭和二十五年三月工事完了茲ニ復旧ス
昭和二十七年五月建設」（役員等氏名略）



竜門ダム